

チーム総合力で悲願の全日本!

経スポ



勝利のガッツポーズ

陸上部 全日本大学対抗駅伝関西予選3位

6月3日に西京極競技場で全日本大学対抗駅伝関西予選が行われた。この大会は3位以内に入ると11月に開催される全日本大学対抗駅伝への出場権が獲得出来る大会であり、本学陸上部は3年振りの全国大会出場を目指し、この日の為に鶴谷監督の指導の下、猛練習を積み重ねてきた。1組目は門田と山口が出場。兩名とも初の予選会で緊張気味であったが冷静に走り切り、31分台の好タイムでゴールし幸先の良いスタートを切った。2組目は松下津田、大山が出場。奈良産大の外国人ランナーがハイス

スピードでレースを引っ張る展開になったが、3名とも自分の役割をしっかり把握した堅実な走り、31分前半の好記録をマークした。続く3組目は富山と溝淵が出場。立命館大学の選手が序盤から飛ばしハイペースなレースになる中、富山は周りの状況を確認しながらの冷静な走りを見せる。一方、溝淵は積極的に先頭グループに着いていき、後半は強みである粘りを存分に発揮し好記録をマークした。そして最終4組目は谷本、為石、米田の大経大エースの3本柱が登場。特に谷本は3月に行われた全日本学生ハーフマラソン大会において、大経大歴代新記録を樹立した実力者である。選手が互いに牽制しあい、スローペー

スでレースが進む中、5千メートル過ぎで為石がロングスパート。後続を一気に引き離しにかかる。続いて7千メートル過ぎでは谷本がスパートをかけ先頭へ。最後は若干ペースが落ちたが、兩名とも粘りの走りを見せた。一方、米田は終始冷静にレースを展開し、3名がほぼ同着の30分台前半の好記録でゴールした。このように本学は、誰一人として大崩れすることなく選手全員の安定した走りで見事に総合3位を獲得し3年振り18回目の全国大会出場を決めた。11月4日に開催される全日本大学対抗駅伝大会(熱田神宮・伊勢神宮)でもチーム一丸となった熱い走り、伊勢路を沸かせてくれるであろう。

選手VOICE

多くの方々の支えがあつての結果だと思います。本戦では満足のいく走りができるように頑張ります。

お願ひします。

(主将 富山恭平)

1年生の頃より鶴谷監督の指導のもと、地道に他大学に負けないくらい距離を踏んできました。まだまだ強くなる可能性のあるチームなので、全日本でも応援お願いします。

(主務 笹谷拓穂)

選手たちは本心に良く頑張ってくれました。大学創立80周年の年に富山主将を中心に「絶対に全日本の伊勢路を走る」を合言葉に他の強豪校を意識し、より強度な走り込み中心のトレーニング・食事・睡眠・勉強など日常生活を通じて精神的安定など心身両面での充実を計るなどの結果、大変なプレッシャーの中で好成績を残してくれました。

鶴谷監督談話

1組目	門田章央	(2年)	31分32秒79
	山口良輔	(2年)	31分55秒50
2組目	松下良祐	(3年)	31分14秒74
	津田圭祐	(2年)	31分24秒29
	大山健太	(2年)	31分27秒27
3組目	富山恭平	(3年)	30分30秒83
	溝淵大輔	(2年)	31分01秒69
4組目	谷本旭洋	(2年)	30分25秒28
	為石勇太	(3年)	30分27秒67
	米田大輝	(3年)	30分27秒99
総合タイム			4時間6分59秒76
大阪経済大学	第3位		